

# 札幌社保協 FAXニュース

2018年 7月24日(火)  
社保協事務局 発行  
TEL823-0867 Fax821-3701  
E-mail:s-syaho@kin-ikyo.or.jp  
http://www.sapporo-syahokyo.jp/

国保・介護・後期  
高齢者110番は  
7月26日(木)です

## 生存権を守る国民的なたたかいを! 札幌社保協21回総会開催

札幌社保協21回総会が7/14に開催され、加入団体から40人が参加しました。

記念講演は、NPO法人札幌高齢者住まいのサポートセンター代表理事 小番一弘氏に「高齢者と住まいの問題」を話していただきました。高齢者の住まいの問題は社会問題にもなっており、住まいや高齢者へのサポート活動をされている小番さんの経験を聞き、参加者からも大変勉強や参考になったとの声が出ていました。

【参加者の討論から】

◎〈地区労連〉無期雇用への転換が進んでいる一方、逃れるために雇用を切る会社も出ている。安すぎる最賃を上げないと貧困解決にならない。◎〈北区守る会〉NPOでホームレス支援をしており昨年1年間で103人がシェルターを利用。住宅保障は大きな問題。◎〈北区社保協〉介護保険の仕組みを変える運動を。後期高齢者の2割負担に反対する大きな運動が必要。◎〈白石社保協〉活動の立て直しのために懇談会を開催し、21/23の団体代表が参加した。◎〈新婦人〉子ども医療費ネットでは札幌市あての署名を計画しているので、協力をお願いしたい。◎〈共産党市議団〉精神障害者への市営交通運賃割引、就学援助の3月給付、手話言語条例の制定など運動と共に実現してきた。

### 北海道社保学校 in札幌の成功を

総会方針案、決算・予算は全体で承認され、9/24開催の道社保学校の成功のために、現地の社保協としてがんばることも確認しました。役員では、代表委員に高崎裕子氏、佐藤宏和氏、野上徹哉氏のほか、道勤医協の理事長交代による田村裕昭氏、事務局長には新たに、道勤医協の村井勇太氏（写真右下）を選出しました。



## 高い!国保・介護・後期高齢者保険料 相談会で減免申請や分納約束



6月中旬に住民税や国保・介護・後期高齢者医療保険料の納付書がいっせいに届き、各区の国保・介護・後期高齢者医療110番連絡会と社保協では18日~28日にかけていっせ相談会を開催。全市で6.5万枚の案内ビラを配布するなど宣伝し、6月では9区の相談会には46人・50件の相談が寄せられました。

【厚別区】40代の女性は病気で退職しましたが、H30年度国保料543,760円、住民税243,200円の請求が届きました。とても払えないと相談に来て、保険料は所得激減で7割軽減の23,310円になり、住民税は減免非該当でしたが、分割納付にしました。

【白石区】白石区の連絡会は、団地や地域に数千枚の案内ビラを配布し、各団体機関紙にも入れてもらったほか、北海道新聞へ15,000枚を入れました。その効果もあり、6/28午前の相談会に10件の相談があり、待っている人が並ぶほどでした。70代の一人暮らしの女性は、年110万円ほどの年金で民間賃貸住宅で暮らしています（市住は応募し続けているが当たらない）。介護保険料の相談が主で、低所得減免に該当するので申請をすることにしました。病院にも行けないという話も出され、勤医協の無料低額診療の紹介と、介護施設の入所相談についても話を聞き、少し安心して帰って行きました。